脳血流シンチグラフィ検査説明書

【検査当日】

・検査予約時間の**１時間前までに１階「初診受付」**にお越しください。

・初診受付で手続きが済みましたら、２階「画像診断受付」へご案内します。

・検査開始から終了までおよそ**１時間**を予定しております。

【検査の目的】

・脳の組織に集まる性質をもつ放射性医薬品を注射し、それから放出される放射線（γ線）を検出します。
・脳の血流に比例して取り込まれる放射性医薬品のわずかな変化を画像でとらえます。
・主に認知症の診断を目的に検査を行います。

【検査前に必要な準備】

・**食事や飲み物の制限はありません。**

【検査の流れ】

・金属が影になって写るのを防ぐため、ネックレス等の貴金属類、金具を外して頂くことがあります。
・装置のベッドの上に横になり、アイマスクをして脳を休めた状態で、放射性医薬品を静脈注射して撮像します。
・お薬が取り込まれるまでアイマスクをしたまま 15 分程度お待ち頂いた後、40～60 分間撮像します。

【検査の安全性】

・日常生活における自然放射線による被ばく線量は年間約 2.1mSv（ミリシーベルト）です。
・当センターでの脳血流シンチグラフィ検査１回あたりの被ばく線量は 4.2～6.5mSv であり、健康被害の心配はないと考えられる線量です。
・放射性医薬品はごく微量なため、副作用はまれです。

（副作用発生率は 100,000 件あたり 1.2 件）＊出典：核医学 56 巻 1 号(2019 年)

【その他】

・**核医学検査で投与する放射性医薬品は当日以外使用できないため、キャンセルに関して受診日前日（土日祝日を除く）午後３時までにおかかりの医療機関へご連絡お願いいたします。**
おかかりの医療機関が休診日の場合は足立医療センター03(3857)0112　核医学検査室（内線 31333）へご連絡お願いいたします。

ご不明な点等ございましたら、おかかりの医療機関までお問い合わせください。

東京女子医科大学附属足立医療センター放射線科
03(3857)0112　核医学検査室（内線 31333）

2023.12 改訂